

保険薬局（集計2）

	直近の事業年(度)					
	個人		法人		全体	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	千円	%	千円	%	千円	%
I 収益	85,814	99.9	153,896	99.8	148,399	99.8
1. 保険調剤収益	82,325	95.9	147,050	95.4	141,824	95.4
2. 公害等調剤収益	84	0.1	351	0.2	329	0.2
3. その他の薬局事業収益	3,405	4.0	6,495	4.2	6,246	4.2
II 介護収益	53	0.1	258	0.2	241	0.2
1. 居宅サービス収益	38	0.0	255	0.2	237	0.2
2. その他の介護収益	15	0.0	3	0.0	4	0.0
III 費用	79,295	92.3	144,973	94.0	139,670	94.0
1. 給与費	9,128	10.6	25,436	16.5	24,120	16.2
2. 医薬品等費	61,347	71.4	104,029	67.5	100,583	67.7
3. 委託費	356	0.4	544	0.4	528	0.4
4. 減価償却費	967	1.1	1,416	0.9	1,380	0.9
(再掲)建物減価償却費	343	0.4	447	0.3	439	0.3
(再掲)調剤用機器減価償却費	179	0.2	368	0.2	353	0.2
5. その他の経費	7,497	8.7	13,548	8.8	13,060	8.8
IV 損益差額(I + II - III)	6,571	7.7	9,180	6.0	8,969	6.0
V 税金	—	—	1,546	1.0	—	—
VI 税引後の総損益差額(IV - V)	—	—	7,634	5.0	—	—
施設数	78	—	888	—	966	—
処方せん枚数	1,018	—	1,636	—	1,586	—

(注) 1. 構成比率は「I 業収益」と「II 介護収益」を合算した金額に対する各収益科目、又は費用科目の割合である。

2. 「処方せん枚数」とは、平成21年6月1ヵ月間の1施設あたり平均処方せん枚数である。

3. 個人立の保険薬局の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。